

競争教育で子どもたちが悲鳴

つめいみなくし、
わかるよるいびきを

今年度から小学校では、改訂学習指導要領が新しい教科書のもとで全面実施となりました。教員増などの条件整備はほとんどなく、一方に授業時間と指導内容が増やされまし。授業は詰め込み・スピードアップになりがちで、丁寧に指導すると内容が残らな、困難が生じています。4月からの子どもたちの様子や学校の状況を報告していただきます。

低学年 わかる喜び・願いを踏みにじる新学習指導要領

堺市立御池小学校 八幡庄子さん



時間の日は朝から子どもの様子が暗いです。②学習内容が上の学年から降りてきて、2年の4月に「時計」や「みずのかき（水・火）」の学習があり、保護者から「できない、わからない」と相談があります。③算数の教科書に国語で習っていない漢字がよく出てきます。これはほんの一例です。

1年生なのに、週1回6時間授業があります。高学年の子どもたちと同じように、学校で長時間学習をするようになっていきます。幼稚園や保育園では「お昼寝」のあった生活から、机に座って6時間の学習が求められる。問題点を挙げる。①帰宅時間が遅い。②帰りの家には帰って来ない。③遊ぶ時間がなくなりました。4時間（週1回）で帰れる日は明々元気に登校しますが、6

3年生、4月、時間割を配ると6時間が2つある。1つは男の子。ベース配分なんて考えて1年生。学校が



長岡ゆりこさん（保護者）

「子どもたちとゆとりをもって学びたい」
河内長野市南花園小学校 金城登志子さん

「子どもたちの時間」を保障したい
この4月から子ども達の帰ってくる時間がまた遅くなり、1年生で毎日2時半、3年生は毎日3時半です。その上、宿題や作業ができていないからと「居残の勉強で4時を過ぎる子も増えていきます。」

「子どもたちの時間」を保障したい
この4月から子ども達の帰ってくる時間がまた遅くなり、1年生で毎日2時半、3年生は毎日3時半です。その上、宿題や作業ができていないからと「居残の勉強で4時を過ぎる子も増えていきます。」

新指導要領 全面実施



「子どもたちの時間」を保障したい
この4月から子ども達の帰ってくる時間がまた遅くなり、1年生で毎日2時半、3年生は毎日3時半です。その上、宿題や作業ができていないからと「居残の勉強で4時を過ぎる子も増えていきます。」

「子どもたちの時間」を保障したい
この4月から子ども達の帰ってくる時間がまた遅くなり、1年生で毎日2時半、3年生は毎日3時半です。その上、宿題や作業ができていないからと「居残の勉強で4時を過ぎる子も増えていきます。」

「子どもたちの時間」を保障したい
この4月から子ども達の帰ってくる時間がまた遅くなり、1年生で毎日2時半、3年生は毎日3時半です。その上、宿題や作業ができていないからと「居残の勉強で4時を過ぎる子も増えていきます。」

府政問題を斬る

橋下暴走府政ストップ！ WTCは防災拠点になりえない



今回の視察ではあらためて、大震災当日、震度3でWTCの被害状況が次のように報告された。

「内装材・防災戸等の損傷が360カ所、32基エレベーター停止、そのうち4基でロープによる絡みで閉じ込め事故発生、52Fでは長周期地震動による10分間

今回の視察ではあらためて、大震災当日、震度3でWTCの被害状況が次のように報告された。

今回の視察ではあらためて、大震災当日、震度3でWTCの被害状況が次のように報告された。



大教組青年部定期大会
大教組青年部定期大会が6月25日、府教育会館で行われ、府内各地から48人の代表員が出席。松本洋一青年部長は、大会冒頭のあいさつの中で、学・交・流・な・が・り・の・く・みの大切さを強調するとともに、「子ども教育、青年の働きがいを守るため、今こそ組合の輪を広げよう」と呼びかけました。

青年部 定期大会

大教組青年部定期大会が6月25日、府教育会館で行われ、府内各地から48人の代表員が出席。松本洋一青年部長は、大会冒頭のあいさつの中で、学・交・流・な・が・り・の・く・みの大切さを強調するとともに、「子ども教育、青年の働きがいを守るため、今こそ組合の輪を広げよう」と呼びかけました。

互いの顔が見える活動を

大教組青年部定期大会が6月25日、府教育会館で行われ、府内各地から48人の代表員が出席。松本洋一青年部長は、大会冒頭のあいさつの中で、学・交・流・な・が・り・の・く・みの大切さを強調するとともに、「子ども教育、青年の働きがいを守るため、今こそ組合の輪を広げよう」と呼びかけました。

福島原発 危機を問う④



「福島原発事故から学ぶ」
苛酷事故例と原子力事故評価尺度

今回、巨大地震と大津波の影響とはいえ、「充分な備えのなかった」福島第一原子力発電所で原子炉の冷却が不可能になり、所謂「冷却材喪失」に到る事故となった。冷却材喪失事故には前例がなく、1979年3月の米東部ペンシルベニア州サスケハナ河畔スリーマイル島原発事故である（今や概要だけでも正確に説明できる人は少ない）。福島原発と違っ

大教組青年部定期大会が6月25日、府教育会館で行われ、府内各地から48人の代表員が出席。松本洋一青年部長は、大会冒頭のあいさつの中で、学・交・流・な・が・り・の・く・みの大切さを強調するとともに、「子ども教育、青年の働きがいを守るため、今こそ組合の輪を広げよう」と呼びかけました。